

幼兒園的

地域連携
地域交流

本園の地域連携・地域交流

幼稚園型 認定こども園 学校法人 聖徳幼稚園

富士小学校・聖徳幼稚園 交流会

参加者：富士小学校 1・2年生 ・ 当園年長児

1. 目的と経緯

- ・ 当園：富士小学校の児童と交流することにより、小学校入学への期待と希望が持てる機会とする。
- ・ 富士小学校：生活科学習として当園を訪問し、園児と交流することにより、成長した自分たちを実感すると共に、園児に小学校入学の期待と希望が持てる機会とする。

2. 内容

- ・ はじめの会
「今日は楽しく過ごしましょう」と富士小学校の代表児童から挨拶があった。
- ・ みんなで遊ぼう(猛獣狩り・玉入れ)
猛獣狩りでは、小学生のお兄さんお姉さんにリードしてもらいながら、聞こえた動物の文字数と同じ人数のグループを作り、楽しく取り組むことが出来た。
また、音楽が流れたら玉入れを中断しダンスをする、「ダンシング玉入れ」に挑戦。
小学生と園児の混合チームでおこない楽しく踊る姿や、夢中になって玉入れをする姿が見られた。
- ・ おわりの会
小学生と園児それぞれ2名ずつ感想を発表し、最後に記念として小学生から園児へメダルをいただいた。



3. 成果と課題

- ・ 園児は、小学生とペアになってゲームをおこなうことで、楽しく交流することが出来た。
- ・ 教職員にとっても、当園の卒園児の成長した姿や、生き生きと活動する姿を見ることが出来、良い機会となった。



《 食育活動 》

～ 育てよう おいしい野菜・豊かな栄養 ～

1. 目的と経緯

- ・ 野菜栽培を通して、自分の手で世話をする体験から、野菜の生長を感じ取り、愛情をもって育てた野菜を食べることで食育に繋げる。
- ・ 園児・保護者を交えて畑作業を保育の一環として行う。



2. 内容

- ・ 富士吉田市市民農園を借用し、山梨県出先機関「総合農業技術センター」(富士吉田市合同庁舎内)の所長 及び、職員の協力のもと、野菜栽培に挑戦する。
- ・ 2023年度に挑戦した野菜リスト

・きゅうり	・ミニキャロット
・さつまいも	・ゆうがお
・じゃがいも	・ながいも
・トマト	・すいか 等
・ミニトマト	(ひまわり・貝がら草)



- ・ 苗や種をマルチの中に入れて土をかぶせる作業から始まり、ジョロ持参で水やりや除草作業を行った。
- ・ 野菜の変化や気付きを友だちと共有しながら生長を喜んできた。



◎事例①

トマトやきゅうり等の夏野菜は、収穫後水洗いをして食べたり漬物やディップサラダにして味を楽しんだ。

◎事例②

じゃがいも・完熟トマトは「お泊り保育」のカレーに入れて美味しく食べることが出来た。



◎事例③

夕顔は初めて見る子が多かった為、解体ショーを行い、実際に触れることで、外側と内側の違いや感触を楽しんだ。その身をみそ汁にして昼食時に食べた。(全園児)

◎事例④

野菜の4つ(赤、青、黄、白)の栄養素について学ぶ。



3. 成果と課題

- ・ 年齢の違いから取り組み方に差は出たが、自分達で野菜を育てることで野菜に対する思いが豊かになり、結果として苦手だった野菜も食べられるようになったり、少しだけでも口に運ぶ姿が見られた。
- ・ 4つのお皿の栄養素をしっかりと把握し、食品の分類が出来るようにしていきたい。

けんちゃん交通安全教室

令和6年1月18日(木)

「園児、けんちゃん交通安全教室と不審者対応」

9時40分に警察の方が来て交通安全教室を始めました。まず、お巡りさんが交通ルールのお話をし、園児の反応をみました。園児は前に習った交通ルールを思い出して園児なりに答えていた様です。

その後、けんちゃん人形を使つての腹話術で横断歩道の渡り方、信号の色での行動の仕方をけんちゃんをとおして学ばせてゆくと言う人形を使うことで園児も楽しく交通ルールが理解できたと思います。

最後にマジックで帽子から信号機の旗の色を使いながらのマジックは楽しく、締めくくりにふさわしい一幕でした。

※ 今後の対応は、繰り返すルールを保育者が伝えてゆくことが必要かなと思いました。

山梨県富士吉田市浅間1-5-5
認定こども園 新倉幼稚園

本園の地域連携・地域交流

学校法人月江寺学園
月江寺幼稚園

「バス乗車安全確認訓練」実施について

1. 経緯と目的

本園では令和年9月5日に静岡県牧之原市の川崎幼稚園で発生した、送迎バス内に園児が置き去りにされ死亡するという痛ましい事件を教訓として、乗車マニュアルの見直し、職員の教育等に努めてまいりました。本園では川崎幼稚園同様の事件は一切発生しないと確信しております。しかしながら車の運転者、添乗する教諭にもしものミスが全く無いとは言いきれません。このため月江寺境内をお借りして令和5年2月6日に「バス乗車安全確認訓練」を実施いたしました。

内容的には、3台の学園バス内に園児が置き去りになったことを想定して、「置き去りになった園児が、自ら外部にアピールするため実際に車内で車のクラクションを鳴らす」という訓練を行いました。

近隣の皆さまに、園児のバス乗車安全確認訓練の実施にご理解ご協力をいただけるよう周知するために、回覧板と案内文書をポスティングするなどして、クラクションの騒音等でご迷惑をお掛けする事を告知させていただきました。

2. 内容

*実施日：令和5年2月6日（月曜日）

*実施時間：10時20分から12時位まで（年長→年少→準年少→年中の順）

*実施対象：登園した全園児が全3台の学園車のクラクションを鳴らす

3. 成果と課題

・園児は実際にクラクションを自ら鳴らすことは初めてで、幼稚園の送迎車の中でも、家族の車の中でも発生する可能性がある「置き去り」への対応を、クラクションを鳴らすことで周囲にいる人に知らせることができることを学ぶことができた。

・地域周辺のご家庭に訓練後に謝罪に出向いたところ、「安全のために必要なことだからどうぞんどんやって下さい」と言われて安心しました。

※この後5月22日に安全装置が装着され利用を開始し、教職員の研修も徹底して事故の発生はありません。

以上

米作り体験(園庭でミニ田んぼ)からの 縄編みづくりに挑戦

1. 目的と経緯

本園では“明るくすこやかなよい子を育てる”ことを願い、“遊びと祈り”を重視し、保育を行っています。楽しい園生活を基盤とし、いろいろな人とのふれあいを大切にしながら、心に響く体験活動を目的に、地域の方々のお力をおかりし、温かな人間愛にふれる貴重な時間を過ごしています。

40年以上続く米作り体験の中で、ここ数年間、園庭でも日々観察できるように「ミニ田んぼづくり」をしています。今回は、収穫し終えた『藁』を使って、『縄編み体験』を行いました。

2. 内容

○園庭でミニ田んぼづくり



昨年度の年長さんから譲りうけたお米の種=『粳』から育ててみました



フリー参観のお母さんにも手伝ってもらい、6月にミニ田んぼのお田植をしました



ミニ田んぼにも『かかし』を立て、無事に育ち、稲刈りの時期を迎えました

○「私のおいしいちゃん、藁で編めるよ！」園児の祖父来園 『縄編み体験』



3. 成果と課題

- ・米作りの過程を学んできた子ども達にとって、『縄編み体験』の活動を通し、生活に基づいた昔からの知恵を体験することができました。
- ・おじいちゃんの手で、藁がどんどん長く縄になる様子に驚き、教えてもらいながら子ども達の小さな手で一生懸命に挑戦していました。
- ・おじいちゃんから、プレゼントされた『しめ縄』を使って、“一人ひとりの自由な発想で『お正月飾り』を製作することができ”元気いっぱいの一年生になれますように”と家に持ち帰り、玄関に飾られました。
- ・後日、お礼のお手紙を書きました。このような活動を通して、子ども達の思いが文字を書くことへの意欲につながっていくと感じました。

